2012年度 第3四半期
決算説明資料

2013年2月5日

株式会社フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

第3四半期決算（4月-12月）のポイント

フジ・メディア・ホールディングス

■連結営業利益310億円　増収増益

◆フジテレビ　減収ながら増益

第2四半期、第3四半期にスポット広告市況が低調、放送収入減収

好調な映画などが収益に大きく貢献

◆制作事業　増収増益

グループ外からの受注が好調、収益を押し上げ

◆映像音楽事業、生活情報事業　減収減益

◆新規連結の都市開発事業が引き続き貢献

業績概要

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

連結	第3四半期			9ヶ月累計		
	2012年 10月～12月	2011年 10月～12月	増減率	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
売上高	165,818	163,902	1.2%	470,627	448,521	4.9%
営業利益	12,040	14,715	▲18.2%	31,014	28,634	8.3%
経常利益	13,100	14,776	▲11.3%	40,403	29,831	35.4%
当期純利益	8,886	7,600	16.9%	26,933	16,598	62.3%

※9か月累計の経常利益には、関西テレビ放送の株式取得に係る負ののれん（68億円）による営業外収益が含まれます。

（単位：百万円）

フジテレビ	第3四半期			9ヶ月累計		
	2012年 10月～12月	2011年 10月～12月	増減率	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
売上高	81,613	88,119	▲7.4%	245,909	248,488	▲1.0%
営業利益	7,325	10,262	▲28.6%	20,696	20,138	2.8%
経常利益	7,227	10,340	▲30.1%	20,842	20,661	0.9%
当期純利益	4,218	4,511	▲6.5%	12,228	10,304	18.7%

セグメント別業績【第3四半期】

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	2012年 10月～12月	2011年 10月～12月	増減率	2012年 10月～12月	2011年 10月～12月	増減率
放送	90,020	95,513	▲5.8%	7,672	10,831	▲29.2%
制作	12,436	11,178	11.3%	736	787	▲6.5%
映像音楽	14,331	15,077	▲5.0%	557	752	▲25.9%
生活情報	39,544	40,809	▲3.1%	1,897	2,390	▲20.6%
広告	11,396	10,089	13.0%	151	51	191.6%
都市開発	8,458	-	-	676	-	-
その他	7,123	7,323	▲2.7%	220	248	▲11.3%
調整額	▲17,493	▲16,090	-	127	▲346	-
連結	165,818	163,902	1.2%	12,040	14,715	▲18.2%

《主な連結会社》

放送	フジテレビジョン、BSフジ、ニッポン放送
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス、セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス、協同広告
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

セグメント別業績【9ヶ月累計】

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
放送	266,823	267,771	▲0.4%	22,356	21,795	2.6%
制作	38,170	32,555	17.2%	2,381	1,650	44.3%
映像音楽	42,500	44,794	▲5.1%	1,770	2,536	▲30.2%
生活情報	101,375	104,390	▲2.9%	1,332	2,753	▲51.6%
広告	30,167	28,625	5.4%	66	53	24.4%
都市開発	24,326	-	-	3,097	-	-
その他	20,037	20,417	▲1.9%	593	666	▲11.0%
調整額	▲52,773	▲50,032	-	▲583	▲821	-
連結	470,627	448,521	4.9%	31,014	28,634	8.3%

業績予想修正のポイント

フジ・メディア・ホールディングス

■連結営業利益　367億円へ引き上げ

◆フジテレビ　上方修正

スポット動向等を反映し、放送収入の見通しを引き上げ

大ヒットの映画をはじめ、放送以外の事業の貢献を見込む

◆制作事業

グループ外からの好調な受注を踏まえ、通期見通しを上方修正

◆映像音楽事業

リリース計画を見直し通期予想を若干引き下げ

2012年度 業績予想の修正

フジ・メディア・ホールディングス

連　結	通期予想	前回予想	増減額
売　上　高	628,800	622,700	6,100
営 業 利 益	36,700	33,800	2,900
経 常 利 益	45,900	43,200	2,700
当期純利益	30,600	28,000	2,600

（単位：百万円）

フジテレビ	通期予想	前回予想	増減額
売　上　高	323,800	320,400	3,400
営 業 利 益	23,000	20,100	2,900
経 常 利 益	23,100	20,400	2,700
当期純利益	13,400	11,700	1,700

（単位：百万円）

	下期予想	前回予想	通期予想	前回予想
ネットタイム	▲1.6%	▲2.5%	0.7%	0.2%
ローカルタイム	▲11.7%	▲13.4%	▲5.1%	▲6.0%
スポット	▲9.7%	▲11.9%	▲3.4%	▲4.6%
放送収入	▲6.3%	▲7.9%	▲1.7%	▲2.5%

（前期比）

セグメント別業績予想

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：億円）	売上高			営業利益		
	通期予想	前回予想	増減額	通期予想	前回予想	増減額
放送	3,514	3,465	49	250	222	28
制作	501	490	11	26	22	4
映像音楽	580	599	▲19	22	24	▲2
生活情報	1,331	1,339	▲8	14	15	▲1
広告	400	385	15	0	0	0
都市開発	398	396	2	50	50	0
その他	264	262	2	6	6	0
調整額	▲700	▲709	-	▲1	▲1	-
連結	6,288	6,227	61	367	338	29

《主な連結会社》

放送	フジテレビジョン、BSフジ、ニッポン放送
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス、セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス、協同広告
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

フジテレビの業績

フジテレビ　売上高・営業費用内訳

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

	第3四半期			9ヶ月累計		
	2012年 10月～12月	2011年 10月～12月	増減率	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
放送事業収入	70,709	76,024	▲7.0%	209,943	210,131	▲0.1%
放送収入	62,025	67,782	▲8.5%	184,366	186,108	▲0.9%
その他放送事業収入	8,683	8,242	5.4%	25,576	24,022	6.5%
その他事業収入	10,904	12,094	▲9.8%	35,966	38,357	▲6.2%
売上高合計	81,613	88,119	▲7.4%	245,909	248,488	▲1.0%
放送事業原価	44,891	46,118	▲2.7%	133,894	133,791	0.1%
その他事業原価	8,197	9,346	▲12.3%	28,394	32,338	▲12.2%
販売費・一般管理費	21,199	22,392	▲5.3%	62,925	62,220	1.1%
営業利益	7,325	10,262	▲28.6%	20,696	20,138	2.8%

フジテレビ　スポットの動向

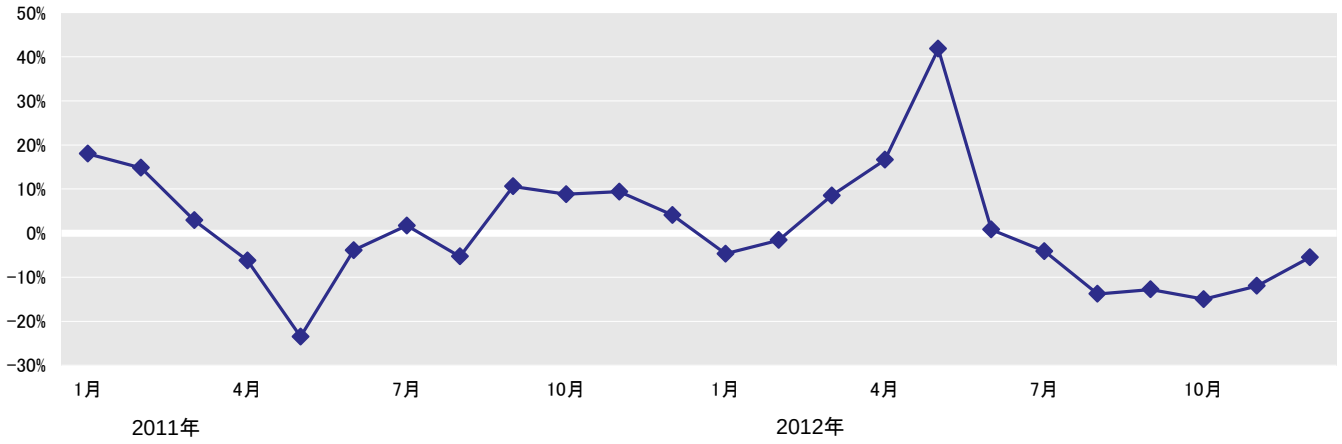
フジ・メディア・ホールディングス

スポット収入

（単位：百万円）

	2012年 10月～12月	前年比	2012年 4月～12月	前年比
スポット収入	30,680	▲10.9%	87,466	▲1.7%

スポット収入　前年同月比推移



フジテレビ　スポット業種別動向

フジ・メディア・ホールディングス

2012年10月～12月　※管理ベース

業種	シェア	前年シェア	前年比
化粧品・トイレタリー	14.3%	15.4%	▲18.7%
事務・精密・光学機器	9.2%	7.7%	4.0%
エンタテイメント	9.0%	9.1%	▲13.7%
食品	8.9%	9.5%	▲17.7%
通信	8.2%	8.3%	▲12.9%
流通・小売業	7.4%	5.4%	19.9%
医薬品・医療用品	7.2%	5.8%	7.3%
衣料・身回品・雑貨	6.8%	5.8%	3.5%
自動車・関連品	6.0%	5.4%	▲1.2%

業種	シェア	前年シェア	前年比
非アルコール飲料	5.7%	5.9%	▲15.1%
外食・各種サービス	4.1%	5.0%	▲28.4%
金融・保険	3.1%	3.5%	▲21.8%
家電・AV機器	3.0%	3.4%	▲21.4%
交通・レジャー・観光	1.8%	1.9%	▲14.5%
不動産・住宅設備	1.6%	2.2%	▲36.1%
アルコール飲料	0.9%	3.8%	▲78.2%
エネルギー・機械	0.9%	0.6%	20.5%
その他	1.7%	1.3%	15.4%

フジテレビ　タイムの動向

フジ・メディア・ホールディングス

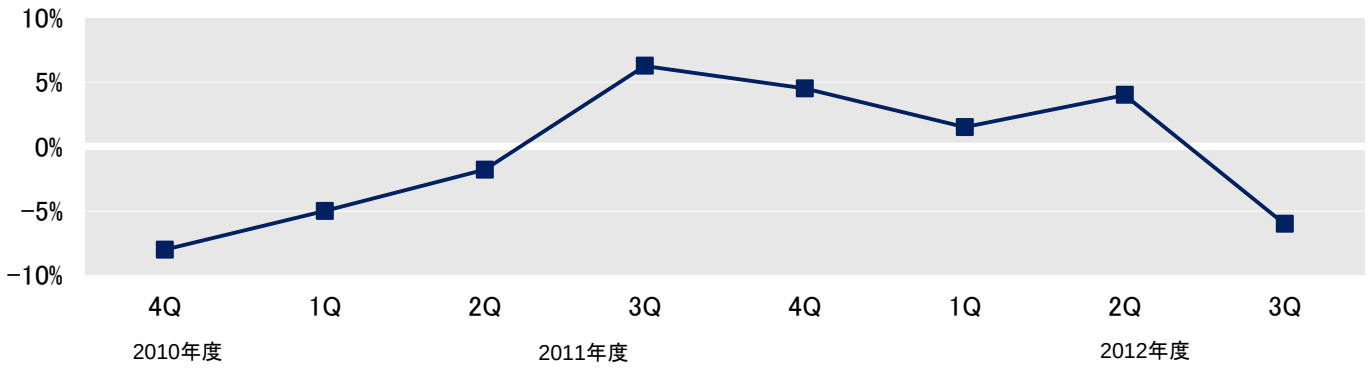
タイム収入

（単位：百万円）

	2012年 10月～12月	前年比	2012年 4月～12月	前年比
タイム収入	31,344	▲6.0%	96,900	▲0.2%
ネット	27,615	▲5.1%	85,192	0.2%
ローカル	3,729	▲12.2%	11,707	▲3.2%

◆10月～12月は、前年のワールドカップバレーボールの反動等により減収

タイム収入 前年同四半期比推移



フジテレビ　番組制作費

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：億円）

	2012年度	2011年度	増減率
第1四半期	235	241	▲2.8%
第2四半期	257	240	7.0%
上期	492	482	2.1%
第3四半期	253	266	▲4.9%
累計	746	749	▲0.4%
第4四半期		243	
下期		510	
通期		993	

※自社制作番組及び
購入番組の直接費

フジテレビ　編成・制作

フジ・メディア・ホールディングス

■引き続きメインターゲット＝若者層からの高い支持を獲得

■1月改編を実施、さらに4月改編でタイムテーブルを強化

若者層の支持を核に、より幅広い視聴者層への拡がりを図る

2012年　年間視聴率（2012/1/2～12/30）

ビデオリサーチ調べ

	フジテレビ	日本テレビ	TBS	テレビ朝日	テレビ東京
G	11.5	12.3	9.4	12.2	6.7
P	11.6	12.2	9.5	12.5	6.3
全日	7.4	8.0	6.6	7.7	2.9

◆ 1月の新番組

月曜　20時



「ジェネレーション天国」

水曜　20時



「世界行ってみたら
ホントはこんなトコだった!?シーズン2」

◆ 2013年 春の大型スポーツ番組

女子サッカー「アルガルベカップ2013」

3月6日～13日　ポルトガル

「世界フィギュアスケート選手権」

3月10日～17日　カナダ

フジテレビ　非広告事業

フジ・メディア・ホールディングス

■ その他放送事業

（単位：百万円）

	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減
その他放送事業収入	25,576	24,022	1,554
番組販売	14,302	13,689	612
CS放送・その他	11,274	10,332	941

■ その他事業

（単位：百万円）

	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減
その他事業収入	35,966	38,357	▲2,390
イベント	8,060	13,710	▲5,649
映画	9,820	6,989	2,831
ビデオ	4,552	5,173	▲620
MD	5,675	5,531	143
デジタル	3,719	3,064	655
その他	4,138	3,889	248

フジテレビ　イベント事業

フジ・メディア・ホールディングス

■ツタンカーメン展

日本の美術展史上 歴代2位の入場者数を記録　累計208万人

■シルク・エロワーズ 「iD」

シルク・ドゥ・ソレイユ公認　アクロバティック・アーティスト集団

2月15日～3月31日　　東京、福岡、名古屋、大阪



シルク・エロワーズ「iD」

■マイケル・ジャクソン　ザ・イモータル　ワールドツアー

マイケル・ジャクソンの歌声・映像と、シルク・ドゥ・ソレイユのパフォーマンスが融合

北米・ヨーロッパで大ヒットしたオリジナルショー

5月9日～6月16日　　さいたま、横浜、名古屋、福岡、大阪

全36公演のアリーナツアー



マイケル・ジャクソン
ザ・イモータル ワールドツアー

フジテレビ　映画事業

フジ・メディア・ホールディングス

◆ 2012年 公開作品の興行収入TOP4を独占

2月3日現在

1位	BRAVE HEARTS　海猿	73億円
2位	ONE PIECE FILM Z （12月15日公開）	66億円
3位	テルマエ・ロマエ	59億円
4位	踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望	59億円



ストロベリーナイト



◆2013年公開の主な作品

1月26日	ストロベリーナイト	竹内結子　西島秀俊　大沢たかお 公開9日間で興収9億突破の大ヒット
6月29日	真夏の方程式	福山雅治　吉高由里子　北村一輝　杏　他 「ガリレオシリーズ」劇場版 5年ぶりに登場
8月3日	謎解きはディナーのあとで	櫻井翔　北川景子　椎名桔平　中村雅俊　宮沢りえ　他 豪華客船で巻き起こる事件の謎に影山（櫻井）が挑む！
11月	清須会議	役所広司　大泉洋　小日向文世　佐藤浩市　他 三谷幸喜が超豪華キャストで贈る傑作歴史エンタテインメント





清須会議

フジテレビ　ビデオ事業・MD事業

フジ・メディア・ホールディングス

ビデオ事業

◆ 2012年4月クール 月9ドラマ「鍵のかかった部屋」が大ヒット

2012年度 地上波全局の連続ドラマDVDで売上TOP （2月4日現在）



「鍵のかかった部屋」

ＭＤ事業

◆冬の社屋イベントでMD販売が好調

「お台場合衆国　presents　キラキラ WINTER LAND」

番組連動で66万人が来場 （12月15日～1月6日）



番組関連のMD販売が好調

冬のお台場合衆国
「キラキラ WINTER LAND」

アニメ事業

◆専任部門を新設、放送・映画・パッケージ・ネット配信・MDなど、
アニメ関連ビジネス全体の戦略を一元化

◆市場規模が大きい北米・ヨーロッパをはじめ世界を視野に、
多様なMD展開を核としてアニメ事業の収益規模拡大を図る

フジテレビ　デジタル事業

フジ・メディア・ホールディングス

番組配信事業

◆フジテレビ直営のスマートフォン向け配信　順調な伸び

モバイル端末に向けた配信事業が着実に成長

◆引き続き、ドラマの見逃し配信が好調

ペイTVオリジナルドラマも人気コンテンツに

ペイTVオリジナル連続ドラマが配信でも人気



「TOKYOコントロール」



「スイッチガール!!」

ゲーム事業

◆自社製作作品が安定した収益貢献　「テルマエ・ロマエ」「もやしもん」「ネットでマングローブ」

◆番組関連・連携のゲームが好調

- 「逃走中」　3DS向けソフトが47万本の大ヒット　ライセンス収入に貢献
- 「ヌメロン」　200万ダウンロード　海外向けもリリースへ
- 「競馬カードコレクション」「競馬クロニクル」　番組『みんなのKEIBA』のスタッフが監修、多くのファンを獲得

フジテレビ以外の主要子会社の業績

放送 ／ 映像音楽

フジ・メディア・ホールディングス

□ ニッポン放送（放送事業）

（単位：百万円）

	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
売 上 高	14,070	14,016	0.4%
営業利益	203	138	47.4%
経常利益	302	117	157.0%
当期純利益	282	106	165.9%

□ ポニーキャニオン（映像音楽事業）

（単位：百万円）

	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
売 上 高	32,599	35,475	▲8.1%
営業利益	1,103	2,615	▲57.8%
経常利益	1,197	2,737	▲56.3%
当期純利益	556	1,679	▲66.9%

□ BSフジ（放送事業）

（単位：百万円）

	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
売 上 高	8,744	6,896	26.8%
営業利益	1,359	1,436	▲5.4%
経常利益	1,386	1,463	▲5.3%
当期純利益	949	1,460	▲35.0%

生活情報／ 広告／ 都市開発

フジ・メディア・ホールディングス

□ ディノス（生活情報事業）

（単位：百万円）

	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
売 上 高	46,012	45,260	1.7%
営業利益	1,027	1,662	▲38.2%
経常利益	1,119	1,740	▲35.7%
当期純利益	1,096	1,730	▲36.6%

□ クオラス（広告事業）

（単位：百万円）

	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
売 上 高	28,128	26,300	7.0%
営業利益	140	▲51	-
経常利益	144	17	745.1%
当期純利益	38	▲31	-

□ セシール（生活情報事業） ※連結

（単位：百万円）

	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
売 上 高	44,454	46,629	▲4.7%
営業利益	1,110	1,804	▲38.5%
経常利益	1,122	1,845	▲39.2%
当期純利益	▲1,812	1,705	-

□ サンケイビル（都市開発事業）

（単位：百万円）

	2012年 4月～12月	2011年 4月～12月	増減率
売 上 高	19,039	14,294	33.2%
営業利益	2,732	3,033	▲9.9%
経常利益	1,915	1,988	▲3.7%
当期純利益	1,135	1,096	3.6%

※2011年度は持分法適用会社であるため参考値

その他

コーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）を設立

フジ・メディア・ホールディングス

■成長分野への機動的な戦略投資とアライアンス展開を推進

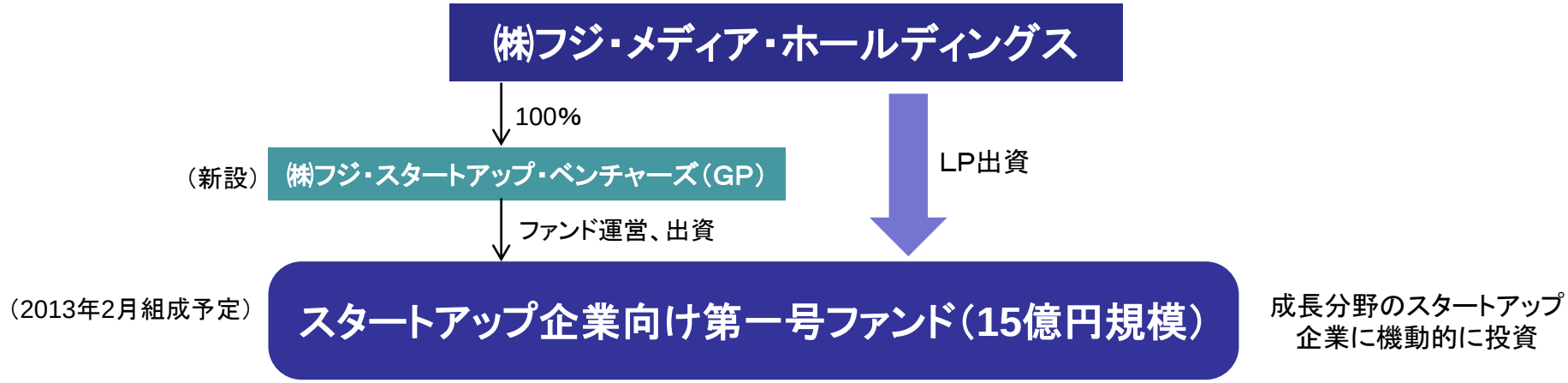
◆15億円規模の第一号CVCファンドを組成

◆スタートアップ企業にフォーカスしたベンチャー投資を実行

［主な投資分野］

■ソーシャル系webサービスの運営
■スマートフォン向けアプリ開発
■新規メディア系技術・サービス開発

◆グループにおける成長分野での事業拡大、新規事業の創出へ



設備投資計画

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：億円）

		2012年度		2013年度 通期（予定）
		4月～12月（実績）	通期（予定）	
設備投資額	連　結	155	221	196
	フジテレビ	50	89	88
	都市開発事業	76	79	25
	フジ・メディアHD	0	5	4
減価償却費	連　結	164	229	226
	フジテレビ	82	116	114
	都市開発事業	25	38	38
	フジ・メディアHD	30	37	26

P.18 ： ©Theatre T & Cie
P.19 ： © 2013 フジテレビジョン S・D・P 東宝 共同テレビジョン FNS27社 光文社
P.19 ： © 2013 フジテレビ 東宝
P.21 ： © フジテレビ
P.21 ： © フジテレビ